

新規出店店舗数の増加に資する事例

【滋賀県守山市 人口：85,590人（令和4年） 計画期間：平成27年4月～令和3年3月】

成果

【中心市街地における新規出店店舗数】

基準値 7店舗（H25）→**89店舗**（期間内累計）
※平均14.8店舗/年

取組のポイント

- ①老朽化した商業ビルの再生
- ②まちづくり会社主導での空店舗の解消
上記2点の取り組みによる新規出店の増加。

事業概要

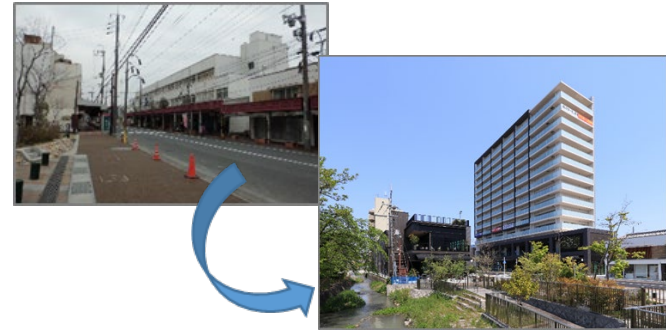
【守山銀座ビル地区 第一種市街地再開発事業】

既存商店街ビルの建て替え

老朽化したビルを多様なニーズに対応できる施設へ建て替え、商業機能を強化するとともに、ヘルスケアを核とした整備も進め、多世代が交流できる拠点とした。
当ビル東棟・西棟で計10店舗が新規出店している。

【活用した支援措置】

社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）



【空き店舗対策事業】

テナントミックスにより空店舗を解消

まちづくり会社が主導となりテナントミックスによる空店舗の解消を図った。特に、守山市歴史文化まちづくり館「うの家」では、歴史文化館だけではなく地域活性化施設と一体的に整備したことにより、それぞれの分野を超えたシナジー効果が生まれている。加えて、敷地内のテナントにはカフェなどの魅力ある店舗を誘致することにより、互恵的なぎわい創出が実現できており、テナントミックスの効果が発揮されている。これまでの活動実績などからまちづくり会社の認知度・信用度も高まり、想定以上の効果が生まれた。



【守山市概要】 中心市街地区域 約177ha

